

きいてナース みてなース

市立福知山市民病院

620-8505

京都府福知山市厚中町231番地

TEL:0773-22-2101 FAX:0773-22-6181

<https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/site/hosp/>



～一度私たちの病院に来てみませんか？～ 第59号 発行日：令和8年9月30日



看護部インターンシップ



8月14日(金)に看護学生を対象としたインターンシップが開催されました。病院や看護部の魅力を体感していただくことを目的に、さまざまな学校から沢山の学生さんが参加されました。看護部長、副部長より当院や看護部の説明を受けたり、病棟なども見学されました。



病院の概要・看護部紹介



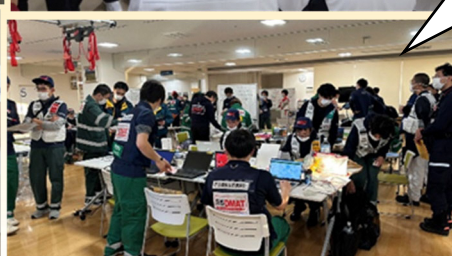
看護師の様々な活動
DMATを紹介！



当院の教育体制について



院内見学の様子



実施を終えて
(先輩看護師より)



先輩看護師との交流



今回のインターンシップでは、学生の皆さんが積極的に患者さんとの関わりや看護場面を観察し現場でしか得られない学びを深めておられました。特にコミュニケーションの取り方や安全管理の重要性について具体的な気づきを得られ、「看護の魅力」を体感していただけたと感じています。看護師は「処置をする人」ではなく「患者さんの生活と人生に寄り添う専門職」なのだ、今回の経験を通して学生の皆さんが実感してくれたと思います。この経験を今後の学習に活かし、より根拠を持って行動できる看護師を目指してほしいと願っています。

専門・認定看護師の
説明

新人さんに
アンケートをとってみました！

新人さんの声



入職してから今までで印象的だった出来事は？

- ・初めて患者さんに採血を行い、一度で成功したこと。患者さんから「痛くないよ、上手やで」と声をかけていただき、とても嬉しく感じた。
- ・必要なカンファレンスが実施されており、医師や看護師、理学療法士などが方向性を統一できること。
- ・手術室の看護師の看護は術中だけでなく、術前から術後までを含めた一連の看護であることが印象的でした。患者さんが安心して手術に臨み、術後も回復できるよう支援することの大切さを学びました。
- ・輸液ポンプやシリンジポンプ、IABPなど多くのデバイス類が繋がっていて呼吸器管理になっている患者さんが、どんどん回復して自分で食事がとれるようになった場面を見たとき。
- ・妊娠褥婦さんに対する先輩助産師の関わり方の個性が印象に残っています。情報提供をたくさんする人、必要以上の介助は行わず、側でそっと見守る人など、妊娠褥婦さんの性格や状況をアセスメントして一番良いと思うケアをされており、見習いたいと思いました。
- ・分娩介助をさせていただく中で、どんなお産の経過を辿ったとしても、赤ちゃんが産まれた後は幸せそうな表情をされている場面を見ると、助産師になって良かったと感じます。

夜勤についての感想

- ・日勤帯と比較して少ない人数で多くの患者さんを受け持つため、優先順位を考えながら行動することの難しさを実感した。また、より責任感を持って行動することが重要だと感じた。
- ・急変対応や判断に迷うこともあると思うので、今後も知識や経験を積み重ねていきたいと思っています。
- ・業務の数が多く一つ一つこなすことが大変ですが、ペアの先輩のフォローやアドバイスのおかげで、安心して働くことができています。
- ・夜勤明けはしっかり休息して体調を整えるようにしています。

技術トレーニングの感想

- ・OJTでは段階的に技術習得が行えるよう設定されていて、合格できるまで先輩が一つ一つ教えて下さり、安心して様々な技術を身につけることができる。
- ・手順を覚えるだけでなく、根拠があることを学べる。
- ・「私の腕を使っていいよ」と採血の練習を先輩看護師さんがして下さるのでとてもありがたかったです。
- ・実践後は出来ている点や改善点について具体的にアドバイスをいただきます。先輩からの助言をもとに繰り返し練習することで少しずつ自信を持って実施できるようになったと思います。



学生の皆様へ

←アンケート実施中！！

今後のキャリア支援に役立てるために
是非ご協力をお願いいたします！

回答期限：令和8年10月31日まで

<https://logoform.jp/form/HsVz/1707232>